

あたらしい絵本

No. 513 2025. 10. 19



『おいしいおいしいかくれんぼ』 村田 夏佳／作

・おいしそうな食べ物の中に、犬たちがかくれんぼ。どこにいるのかな？ しばいぬ、ダックスフンド、ダルメシアン、ビーグルなどいろいろな犬がいっぱい！「かくれんぼ」「みつけた」の繰り返し心地よい絵本。（幼0～2歳）



『アンパンマンとおでかけいきます!』 やなせ たかし／原作

・アンパンマンといっしょにおでかけの準備をしよう! お着替えをして、持ち物を用意して、かばんを選んで…。ページをめくりながら身支度を進めていく、おでかけが楽しくなるしかけ絵本。（幼0～2歳）



『ようじゅつがっこう うみのじゅつだめし』 藤川 智子／作・絵

・ようじゅつがっこうのみんなは、うみの中でじゅつだめしをすることに。かっぱのお皿をあたまにのせて、おとひめさまにきゅうりをとどけます。ちからをあわせて難所をのりこえ…。「ようじゅつがっこうのかけくらべ」の続編。（幼0～5歳）



『しばいぬときせつのごはん・おやつ』 村田 夏佳／作・絵

・ひなまつりは、ひしもち、ひなあられ、ちらし寿司。夏は、そうめん、かき氷。十五夜は、月見だんご。大晦日は、年越しそば…。しばいぬたちが、春夏秋冬のおいしい食べものを紹介します。（幼0～5歳）



『くまのおやこのきょうはさかなつり』 エリン・E.ステッド／絵

・おとうさんぐまとこぐまは、ぶかぶかのズボンをはきます。それから長ぐつ。さいごに、ポケットとフードがついた黄色いコート。さあ、さかなつりの準備ができました。…ほんとに? 繰り返しが心地よい、ユーモアあふれる絵本。（幼0～5歳）



『くるりがもりのおべんとう屋さん』 ボコヤマ クリタ／作

・くるりがもりに春がきました。おべんとうやさんを営むたぬきのやまぶきさんとやぐるまさんは、今日もてきぱき働きます。ふわりと香るまぜご飯、からりとあがる天ぷら。ふたりのおべんとうを食べるとなぜか元気になって…。（幼0～5歳）



『ごりらやま』 ながせ たいり／さく

・山のように大きなごりらが座っています。もうずっとじっとしているのでみんなは“ごりらやま”と呼んでいました。動かそうと、悪ガキたちはさまざまなイタズラを仕掛けます。でも、ごりらやまには決して動けないワケが…。（幼0～5歳）

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせくださいね。



『きたよきたよきせつのこ』 吉田 尚令／絵

・春は花の中を行進し、夏は青い空の下で海や川に遊び、秋は草木の声を聞き、冬は冷たい自然にふれる。そして、きせつの子たちは、季節がめぐることを教えてくれる…。四季の美しさと喜びを、詩とちぎり絵でえがいた絵本。
(幼0～5歳)



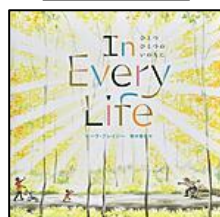
『3つのいしころ』 オリヴィエ・タレック／さく

・高い山のとっぺんで暮らす、3つの石ころ。風に吹かれ、遠くの山々をながめ、ふもとのひつじを数え、いい匂いの草花が育つのを見て過ごしていた。ところがある日、かみなりが落ちて、石ころたちはとっぺんから追い出され…。
(幼0～5歳)



『くも』 しおたに まみこ／作)

・もし、くもたちと仲良くなれたら、暑い日に日陰をつくってくれたり、雨の日にはちょっと空を見せてくれたり。もしかしたら、好きな時に雪を降らせてくれるかも…。世界的な評価を得てきた著者による、スケールの大きな一作。
(幼3～5歳)



『ひとつひとつのいのちに』 マーラ・フレイジー／作

・いのちは、きせき。いのちは、しゅくふく。いのちは、いきることそのもの。そして、ひとつひとつのいのちは…。この世に生をうけ、人生を歩みはじめたすべての子どもたちへエールを送る絵本。
(幼3～5歳)



『ポタポタびちゃん!』 中垣 ゆたか／作・絵

・葉っぱに「ポタポタ」と垂れ、池に「びちゃん!」と落ちたしずく。カエルが「ゲコゲコ」鳴くと、男の子が「ぱんぱん」と手を叩いて…。ページをめくるたびに音の楽しさと人をつなぐ喜びが広がる、オノマトペ絵本。
(幼0～5歳、小初)



『やせいのロボット むじん島のロズ』 ピーター・ブラウン／作

・ぴかぴかのロボット「ロズ」が無人島に流れ着きました。どうぶつをお手本に暮らし始めたロズは、ある日、たまごを拾い…。ロボットとひな鳥の、ふしぎな親子の物語。人気の読み物「野生のロボット」シリーズ第1巻を絵本化。
(幼3～5歳、小初)



『ラッテとふしぎなたね』 庄野 ナホコ／作

・猫のラッテは植物を育てるのが大好き。ある日、不思議な鳥が庭に落としていった種をまくと、芽が出て、青いつぼみがついた。ところが、季節がめぐってもつぼみは閉じたまま。まるで、つぼみだけ時間に取り残されたようで…。
(幼3～5歳、小初)



『まっけたんだよヒカル』 つちだ よしはる／絵と文

・ヒカルは、4歳の男の子。お父さんとお母さんは、病院でヒカルに初めて会い、生みのお母さんから「どうかヒカルを大切に育てて下さい」とお願いされ…。養子縁組の理解を深める絵本。
(幼3～5歳、小初)